

長崎県ケアラー支援シンポジウム ひとりにしない、 社会で支える ケアラー支援

2023年4月に「長崎県ケアラー支援条例」を施行しました。
ケアラーが援助を受ける人とともに、安心して人生を
送ることができる地域共生社会の実現を目指し、
県民向けのシンポジウムを開催します。

●日時／2024年1月13日(土) 13:30～16:30

●場所／長崎県庁1階大会議室(長崎市尾上町3番1号)

※オンライン配信、アーカイブ配信も行います。

お申込み方法は
裏面を
ご覧ください

基調講演 1

「条例に託す思い」

長崎県議会議員 とうまなみ氏

基調講演 2

「ケアラー支援の現状と課題、 条例制定への期待」

一般社団法人
日本ケアラー連盟代表理事 堀越 栄子氏

パネルディスカッション

「ケアラーが安心できる 共生社会の実現のために」

【コーディネーター】

長崎県地域包括・在宅介護支援センター協議会 辻 敏子氏

【パネリスト】

長崎市北多機能型地域包括支援センター 平田 悠介氏

一般社団法人 長崎県介護支援専門員協会 迫 久美子氏

NPO法人school「まっなぎや」 山田 弘美氏

高次脳機能に障害をもつ子どもと家族の会よりよりホームズ 飯田 彰吾氏

長崎県ケアラー支援シンポジウム

ひとりにしない、社会で支える ケアラー支援

家族の介護等を行うケアラーが、誰にも頼れずに孤立したり、心身が疲弊してしまうことが問題となっています。少子高齢化や核家族化などが原因で、家庭の人手は少なくなり、個人にかかる介護等の負担は以前より大きくなりました。長崎県では、ケアラーを支援する条例を制定し、社会全体で支える仕組みの構築に取り組んでまいります。

基調講演 1

「条例に託す思い」

長崎県議会議員 **ごう まなみ氏**



純心女子短期大学保育科卒業。NBC長崎放送契約社員として番組制作に関わる。フリーとなりテレビレポーター、ラジオパーソナリティ、イベントMCとして活躍。26歳で結婚、授かった長男が重度の障害児だったため離婚。シングルマザーで障害児の育てと仕事の両立の大変さを経験。2013年長崎県議会議員補欠選挙初当選。現在4期目。自身の経験から、昨年ケアラー支援条例を制定。

基調講演 2

「ケアラー支援の現状と課題、条例制定への期待」

一般社団法人
日本ケアラー連盟代表理事 **堀越 栄子氏**



日本女子大学で教育研究に携わりながら、1997年地元の埼玉県において、認定NPO法人さいたまNPOセンターを設立し、代表理事として市民活動やNPO活動を支援している。2010年、「ケアラーを社会で支える包括的な体制を作ろう」と、日本ケアラー連盟を設立し、代表理事の1人となる。以来、全国2万世帯のケアラー実態調査、自治体でのヤングケアラー調査等を行い、日本の多様なケアラーの現状を把握し、ケアラーを社会的に支援する必要性や支援策、法制化・条例化について、国や自治体に提言している。

申込方法

会場、またはオンラインで参加できます。スマートフォン等からQRコード、またはURLを読み込み、必要事項を入力してお申込みください。 <https://x.gd/Rmlup>

会場 長崎県庁1階大会議室
(長崎市尾上町3番1号)

※お越しの際は公共交通機関をご利用ください。



お問い合わせ
長崎県長寿社会課
☎095-895-2434



お申し込み先
QRコード

パネルディスカッション

「ケアラーが安心できる 共生社会の実現のために」

【コーディネーター】

長崎県地域包括・
在宅介護支援センター協議会 **辻 敏子氏**



島原市地域包括支援センター管理者 県地域包括・在宅介護支援センター協議会会長 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会副会長。2022年に家族介護者支援の機能強化を目的とした厚生労働省老健事業「家族介護者支援に係る人材育成等に関する調査研究事業」に参画。介護者に対する支援の実施はあっても、健康や疾病予防の事業が少なく、介護者自身の健康的・文化的な生活に焦点を当てた支援・人材の育成・機能強化の必要性を痛感し活動している。

【パネリスト】

長崎市北多機能型
地域包括支援センター **平田 悠介氏**



2016年より北多機能型地域包括支援センターの管理者として従事。地域共生社会の実現に向けて、多世代、多職種、多分野の垣根を超えた地域の仕組みづくりを行うべく、福祉全般の総合相談業務に携わるとともに、障がい者と児童の交流や校内居場所カフェなどの新規事業の企画、実施に取り組んでいる。

一般社団法人
長崎県介護支援専門員協会 **迫 久美子氏**



長崎市のケアサポート春の管理者として勤務。2023年1月にワークサポートケアマネジャーに認定登録。現在、仕事と介護の両立、離職防止を目指したワークサポートケアマネジャーが果たす役割についての研修講師や、介護離職防止支援セミナーなどを通じて、広く周知活動を展開している。

NPO法人school
「まつなぎや」 **山田 弘美氏**



産後、看護師復帰し、12年間精神科急性期治療病棟の経験をjて、子どもの成長・発達には、地域でのより早い段階での関わりや居場所の必要性を感じる。医療から福祉へ、放課後等デイサービスに7年勤務しながら、2019年設立のNPO法人schoolの不登校支援に携わり、現在、NPO法人school「まつなぎや」子どもの居場所の専属スタッフとして勤務している。

高次脳機能に障害をもつ子どもと
家族の会より **飯田 彰吾氏**



よりよりホームズは、小児期に交通事故や脳の病気を原因として高次脳機能障害を発症した(または症状を有する)子どもと家族により、2022年5月14日に発足。長崎県高次脳機能障害支援センターとも連携し、主に研修会や交流会を開催し会員間の交流を図るとともに、全国で活動する小児高次脳機能障害の家族会との連携も進めている。